

ホタテガイ養殖管理情報

水温が中層（10～15m層）で20℃を超えてきたので、 新貝および成貝の施設は水温の低い下層へ沈めましょう

1 海況

7月15～22日の各ブイの水温は図1のとおりで徐々に上昇しており、中層（10～15m層）でも20℃を超えるところが見られてきました。

2 養殖管理の注意点

ホタテガイ新貝および成貝は、20℃で成長が止まり、それ以降は中腸腺（ウロ）や貝柱のエネルギーを使って生命を維持しますが、水温が高くなるほどエネルギーの消耗が激しくなり、最後は**エネルギー不足でへい死**します（図2-3）。

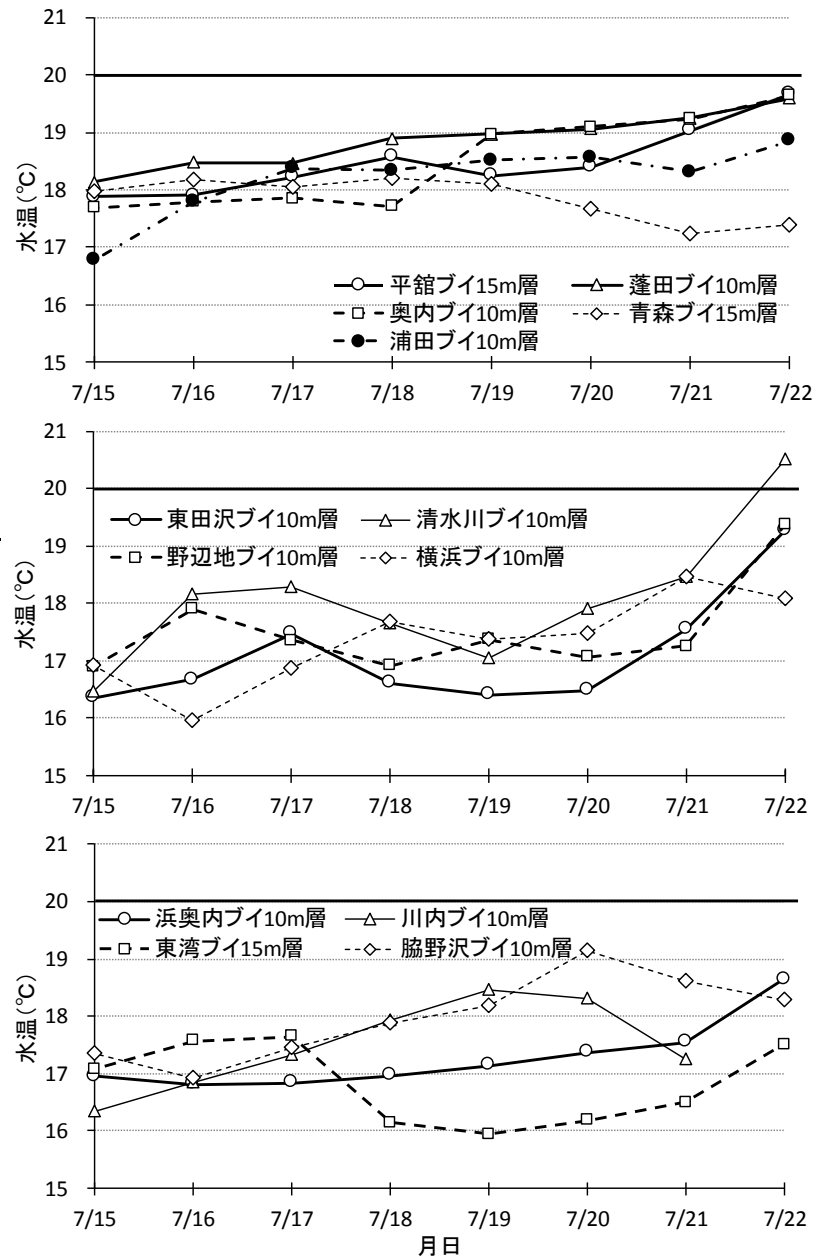


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

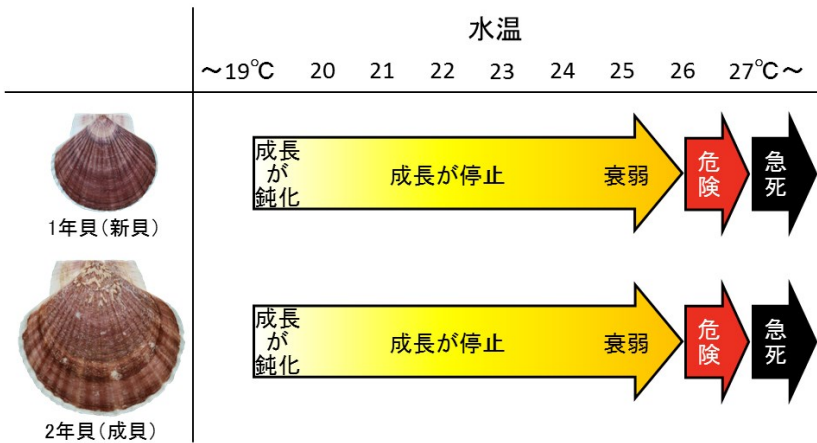


図2 新貝および成貝の成長と生残率に与える水温の影響

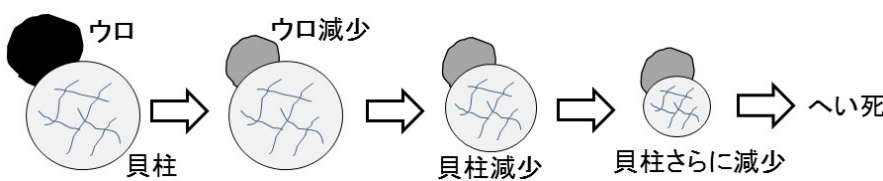


図3 高水温が続いた場合のホタテガイのへい死メカニズム

各地区で最も近いブイの中層水温が20℃を超えた場合（下記、海ナビ@あおもり）、**新貝および成貝のうち、出荷する予定以外の貝はできるだけ水温の低い下層に沈めるように**しましょう。

また、異常貝はへい死しやすいことが分かっていますが、高水温時はへい死率がさらに高まります（図4）。

成貝向けに越夏する場合は異常貝率が低く、歩留りの良い貝を用いるようにしましょう。

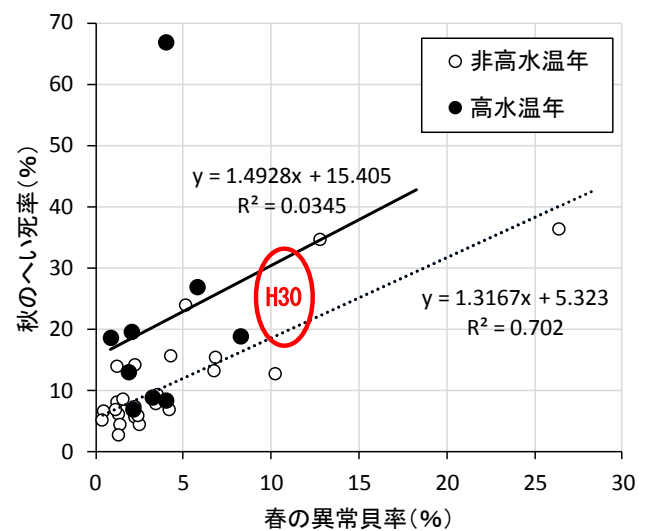


図4 養殖ホタテガイ実態調査における春の異常貝率と秋のへい死率（赤丸は平成30年の予想範囲）